

## ◎コロナウイルスの無生物表面上での生存期間と消毒薬の効果

(文献) Kampf G, Todt D, Pfaender S, Steinmann E.: Persistence of coronaviruses on inanimate surfaces and its inactivation with biocidal agents. J Hosp Infect. Feb 6, 2020. pii: S0195-6701(20)30046-3. doi: 10.1016/j.jhin.2020.01.022.2020 Feb 6

→ [https://www.journalofhospitalinfection.com/article/S0195-6701\(20\)30046-3/fulltext](https://www.journalofhospitalinfection.com/article/S0195-6701(20)30046-3/fulltext)

【要約】新型コロナウイルス（2019-nCoV）は、飛沫感染および接触感染（汚染された手指や汚染物品の表面を介した感染）により伝播される。そこで我々は、無生物表面におけるヒトおよびヒト以外の動物に感染するコロナウイルスの生存期間に関する入手可能な情報を網羅的に収集し、医療機関における消毒薬による不活化方策に関する文献をレビューした。

22 件の研究を分析した結果、SARS-CoV、MERS-CoV、および一般的な風邪の流行原因となるヒトコロナウイルス（HCoV）などのコロナウイルスは、金属、ガラス、プラスチックなどの無生物の表面で最大 9 日間生存できることが明らかとなった。（30℃以上の環境では、生存期間がもっと短くなる。）

ただし、62～71%のエタノール、0.5%の過酸化水素、または 0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを使用した表面消毒により、1 分以内に効率的に不活性化される。（2019-nCoV に対しても同様の効果が期待される。）塩化ベンザルコニウムやグルコン酸クロルヘキシジンのような消毒薬は、効果が劣る。

## ◎韓国における 2019-nCoV 感染症の初期症例の疫学的特徴。

(文献) Moran Ki, Task Force for 2019-nCoV2: Epidemiologic characteristics of early cases with 2019-nCoV disease in Republic of Korea. Epidemiol Health. Feb 9, 2020: e2020007. doi: 10.4178/epih.e2020007.

→ <https://www.e-epih.org/upload/pdf/epih-e2020007-AOP.pdf>

(要約と図表は英語ですが、本文はハングルです)

【要約】韓国では、2020 年 1 月 20 日に 2019-nCoV 感染症の最初の症例が確認されて以来、24 人の確定症例があった。58.3%（14 人）は男性、年齢は中央値 42 歳（範囲：21～62 歳）。これらの症例のうち 15 人（63%）が index cases（感染伝播の発端患者）、6 人（24%）が発端患者からの二次感染例 24%）、3 人（12.5%）が三次感染例であった。二次・三次感染例はすべて、発端患者の家族または発端患者の親しい友人であった。すべての index cases は、2020 年 1 月 19 日から 24 日まで韓国に入国していた。

潜伏期間は平均 3.6 日（中央値 4 日）で、基本再生産数（ $R_0$ ：一人の患者が平均何人の未感染者に伝染させたかを示す指標）は 0.5 と計算された。24 人中 2 人は無症候性であった。2 月 8 日時点で患者 22 人が韓国で入院中であり、2 人が退院した。今後新しい情報が利用可能になると、疫学指標は改訂される。世界中の研究者間で疫学情報を共有することは、新しい感染症への効率的な準備と対応に不可欠である。

(文責：山形県 医療統括監 阿彦忠之)